

令和7年度 中部版スクラム教育事業

「学習者主体の学びの実現に向けた教育 DX 推進研修会」

令和7年8月6日（水）、湯梨浜はごろもホールにて標記研修会を開催しました。

第1部「これからの単元づくりのイメージ」では、講義・実践動画等を基に、単元づくりのポイントや自校で大事にしていきたいこと等について協議しました。第2部「これからの授業へ向かうために」では、学校全体を巻き込みながら取組を推進していくために必要な情報や、担当者として備えておきたい考え方について協議しました。各自のイメージや考えを一層ひろげることができた研修会となりました。



以下、参加者の振り返りをいくつか紹介します。

- ◆スプレッドシートでの情報交換がとても分かりやすかった。自校の研究の取組でめざしていく子どもの姿について、改めて見つめ直すことができた。また、他者参照の工夫やそのための ICT 活用等について他校の取組がとても参考になった。今後の研究に生かしていきたい。
- ◆協議で行き詰まった時に、他グループの資料を参考にした。すると新しい発見があり、考えの幅がさらに広がった。まさにこのような活動が授業の中でも実現できればいいのだと思った。
- ◆学習者主体の学びにするために、授業の中で子ども自身に選択させる時間を多くつくるのが大切ではないかと感じた。子どもに「委ねること」と「放任すること」の違いについても、多くの学びを得た。
- ◆自己調整のためには、達成感だけではなく、自分の力が身についたか、時間の使い方はどうだったかなど、自分自身を厳しく見る視点も持たせる必要があると思った。改めて、主体性について考えたい。